

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	高齢者大学開催事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			TEL 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	第一線を退いた高齢者にも生涯学習の一環として学習の機会を提供し、社会環境の変化に対応する能力と心身の健康を養うとともに、学習を通じより多くの仲間づくりを行い、交流を深め高齢者の生きがい創造を果たすために開講している。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内に住所を有する60歳以上の方で1年間受講可能な人。	対象とした数	86,591	人
		実際に 利用した数	160	人

活動の内容	(何を したか)	1. 一年間の開講予定表を作成し、所沢市高齢者大学等運営委員会に諮る。 2. 講座ごとに講師をお願いし、8階大会議室及び保健センター等の教室の予約をする。 3. 学生を生涯学習情報紙「翔びたつひろば」に掲載し募集する。応募者多数の場合は抽選により決定する。 4. 開講予定表に基づき、4月から翌年2月まで月3回程度高齢者大学を開講する。							
	活動実績	項目名	応募状況	1.14	項目名	卒業証書授与率	93.8	項目名	講座回数
			----- 単位 倍			----- 単位 %			----- 単位 回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,503	1,575	9,090	26.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	学生生活の有意義率	有意義だったと回答した数/アンケート数	90	93.3	103.7
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	040400	TEL	2998-9120
事業コード	高齢者大学開催事業	担当部課	保健福祉部 高齢者支援課			
040426		グループ	いきがい推進グループ			
開始年度		昭和 52 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			所沢市高齢者大学開設要綱、管理規程、運営委員会設置要綱				
	関連・類似事業	市民大学、市民健康大学等							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉	中柱	2 生きがい支援の充実	小柱	(4) 高齢者の学習・文化活動の充実
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中		1 位		実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	1321	窓口満足度の向上	コード	3121	受益者負担の見直し				
事業開始の背景	生涯学習が活発化する中、当時老人大学が色々な自治体で開催され始めた時期であり、所沢市についても市民の方からの要望とこうした時代背景により開催したものである。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)								
	第一線を退いた高齢者にも生涯学習の一環として学習の機会を提供し、社会環境の変化に対応する能力と心身の健康を養うとともに、学習を通じより多くの仲間づくりを行い、交流を深め高齢者の生きがい創造を果すために開講している。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	市内に住所を有する60歳以上の方で1年間受講可能な人。			要綱により定員を定めている					
対象数	単位	平成 18 年度	82,044	人	利用数	単位	平成 18 年度	160	人
		平成 19 年度	86,591	人			平成 19 年度	160	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
1. 一年間の開講予定表を作成し、所沢市高齢者大学等運営委員会に諮る。 2. 講座ごとに講師をお願いし、8階大会議室及び保健センター等の教室の予約をする。 3. 学生を生涯学習情報紙「翔びたつひろば」に掲載し募集する。応募者多数の場合は抽選により決定する。 4. 開講予定表に基づき、4月から翌年2月まで月3回程度高齢者大学を開講する。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
学生同士の交流を図ることができる講座を2講座増やした。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,538	1,503	1,510
	決算 (見込み含む)		1,205	1,575	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(0.15 人)	(人)	(0.15 人)
	正規職員人件費	0.68 人	6,256	0.80 人	7,515
	公債費				
	事業費合計		7,461	9,090	
	財源内訳	一般財源	7,461	9,090	1,510
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			22.1	26.8	
利用数一単位あたり(単位:円)			46,631.3	56,813.8	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	応募状況	応募者/入学者数	倍	1.48	1.14	1.14
		卒業証書授与率	卒業者/受講者	%	95.6	93.8	95.6
		講座回数		回	54	54	54
成果分析	学生生活の有意義率	有意義だったと回答した数/アンケート数	%	目標値	90	90	90
				実績	90.4	93.3	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				%	達成率	100.4	103.7

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題		1年間で気軽に話ができる友人が何人できたかというアンケートに対し、34%の方が10人以下という結果であった。また、160人の学生数が適当かどうかというアンケートに対しては、40%の方が多いという結果であるため、目的の一つである仲間づくりの場として、運営方法・学生数及び修業期間を見直していく必要がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	第32期生が安全に学び、多くの卒業生が出ること 皆勤賞が20%以上	平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由				
団塊の世代の退職に伴い、受け皿となるべく今後も実施の必要性は高い。内容については、地域リーダーやNPO・コミュニティビジネスの担い手の育成がある。				
評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日						

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				